

守山まるごと活性化プラン検討委員会
第3回 学区別会議（速野学区）

日時：平成25年8月31日（土）

9：30～11：30

場所：速野会館

次 第

1. あいさつ
2. 説明
 - 本日の進め方
 - 第2回検討結果の説明
3. 意見交換（テーブル毎に）
 - 前回のふりかえり
 - 学区のまちづくりの課題と方向
4. 結果の発表・共有
5. 次回の予定など

守山まるごと活性化プラン検討委員会（学区別会議）委員名簿

【 速野学区 】

H250722 現在

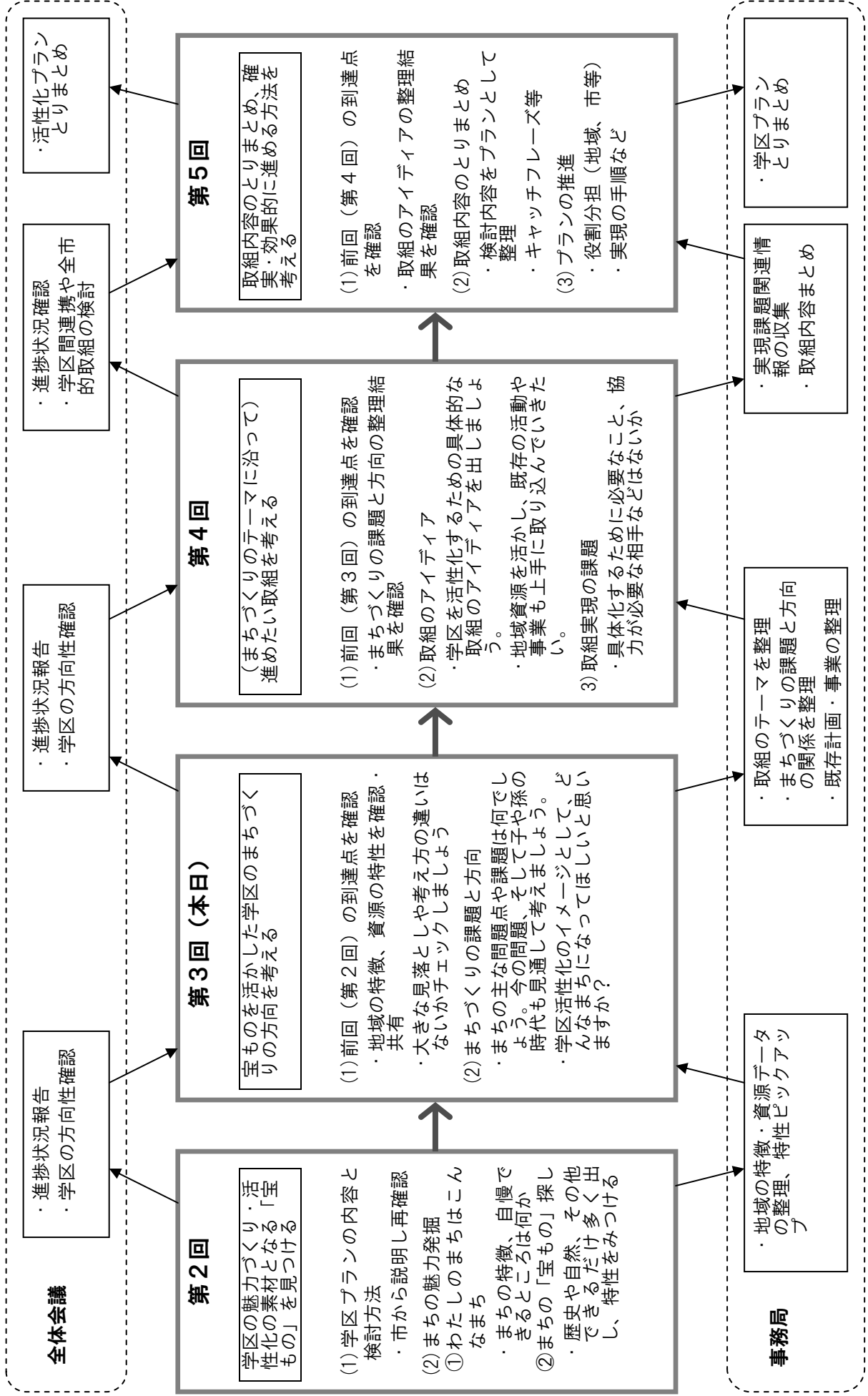
敬称略

No.	自治会	名前		性別
1	開発	芝田 八十司	しばた やそじ	男
2	開発	中井 智美	なかい ともみ	女
3	開発	岡本 善広	おかもと よしひろ	男
4	大曲	山本 光男	やまもと みつお	男
5	大曲	堀江 清	ほりえ きよし	男
6	大曲	山本 富夫	やまもと とみお	男
7	木浜	下村 清明	しもむら さやか	男
8	木浜	葭本 正昭	よしもと まさあき	男
9	木浜	楠本 正行	くすもと まさゆき	男
10	木浜	中西 理津子	なかにし りつこ	女
11	社・ベラヴィータ守山	山岡 龍二	やまおか りゅうじ	男
12	社・ベラヴィータ守山	宮川 美紀子	みやがわ みきこ	女
13	社・ベラヴィータ守山	森神 亨	もりがみ とおる	男
14	美崎	山田 美鶴	やまだ みつる	女
15	美崎	苗村 寛	なむら ひろし	男
16	美崎	戸田 直弘	とだ なおひろ	男
17	美崎	伊藤 潔	いとう きよし	男
18	北川ニュータウン	岸 典生	きし つねたか	男
19	北川ニュータウン	堀尾 菊宏	ほりお きくひろ	男
20	北川ニュータウン	松本 理絵	まつもと りえ	女
21	今浜	今江 光夫	いまえ みつお	男
22	今浜	山田 良彦	やまだ よしひこ	男
23	今浜	野口 清英	のぐち きよえい	男
24	水保	今井 薫	いまい かおる	男
25	水保	西村 雅行	にしむら まさゆき	男
26	水保	小山 安男	こやま やすお	男
27	中野	中島 幸一	なかじま ゆきかず	男
28	中野	今井 孝雄	いまい たかお	男
29	中野	今井 満	いまい みつる	男
30	中野小林	佐々木 芳郎	ささき よしろう	男
31	中野小林	下川 博司	しもかわ ひろし	男
32	中野小林	赤尾 信廣	あかお のぶひろ	男

事務局

- ・濱崎一志（アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授）
- ・高谷 実
- ・坪内稔夫
- ・小野田 敦
- ・今井 剛
- ・吉原史雄
- ・山田 憲
- ・西藤安彦
- ・田渕誠一
- ・横山 愛

学区別会議の進め方



守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

第 2 回 学区別会議 [速野学区]

平成 25 年 7 月 22 日（月）午後 7 時 30 分から速野会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 2 回学区別会議を開催しました。

最初に「守山まるごと活性化プラン」の目指すもの、検討の進め方などについて事務局から説明がありました。その後、速野学区にお住まいの方 32 名が自治会を単位とする 5 つのグループに分かれて「地域の特徴、良いところ」、「地域のたからもの」について話し合いが行われ、最後に参加者同士で共有しました。

学区別会議の様子

■当日のプログラム

- ①挨拶：山岡学区長より
- ②内容説明：プランの内容と検討方法、会議当日のプログラム内容
- ③テーブルに分かれて意見交換：『地域の特徴、良いところ』、
『地域のたからもの』さがし
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲テーブル毎に話し合いました



■山岡学区長の挨拶（抜粋）

今回の守山まるごと活性化プランは、10～20 年さらに 50 年先といった将来、子供達が本当に住んでよかったと感じられる守山市を創っていこうという趣旨だと理解している。皆さんの英知を出し合い、速野から他の学区に負けないような素晴らしい意見を出していただきたい。

テーブル毎に速野学区の『特徴、良いところ』、『たからもの』について話し合いました

- 5 つのテーブルに分かれ、それぞれの『地域の特徴、良いところ』、そして『たからもの（今まで大事にしてきたものや文化、自慢できるものなど）』を話し合いました。
- 速野学区には、古くからの地域と新興住宅地が存在し、人口が増えつつある新興住宅地に対し古くからの地域では人口の減少や少子高齢化が進みつつあります。そんな中、『地域の特徴や良いところ』として、「人と人のつながりの強さ」が、新旧どの自治会からもあげられました。また、祭事やイベント、日常的な子育てなどを媒介として、新旧住民の間の交流も強まりつつあります。
- 地形的には、学区内を南東から北西に横切る旧野洲川河川敷をはじめ、法竜川、新川、大川、樋の口川などの河川があり、昔から住民と水とのつながりが強い地域であるといえます。『たからもの』でも、生活を支えた旧野洲川の伏流水や湧水、農作業や水運を支えた法竜川沿いの遺構、河川敷の自然など、「水」にまつわるものが多くあげられました。
- また、古くからの地域では旧街道沿いの遺構や寺社、祭事など歴史にまつわるものが多くあげられる一方、湖岸に近い新興住宅地では、対岸の比良の景観、湖岸の自然、湖岸に立地する近代的な施設があげられるなどバラエティに富んでおり、広大な範囲に特徴の異なる地域が混在する速野学区の「多様性」を反映した結果となりました。

守山まるごと活性化計画 速野学区 第3回会議

1. 第2回学区会議の意見まとめ

山岡学区長の開会挨拶において、本会議における基本的な考え方についてお話があった。

<速野学区のまちづくり、基本的な考え>

今回の守山まるごと活性化プランは、10～20年さらに50年先といった将来、子ども達が本当に住んでよかったと感じられる守山市を創っていこうという趣旨だと理解している。皆さんの叡智を出し合い、速野から他の学区に負けられないような素晴らしい案件を出していただきたい。

地域の良いところ、たからものを探すと、速野学区の以下のような特徴が浮かび上がった。

<速野学区のまちの特徴、活かすべき特徴>

■人とひととのつながり

- ① 古くからの住宅地と新興住宅地が存在し、人口が増えつつある新興住宅地に対し古くからの地域では人口の減少や少子高齢化が進みつつある中、地域の良いところとして、「人と人のつながりの強さ」が、新旧どの自治会からもあげられている。
- ② 祭事やイベント、日常的な子育てなどを媒介として、新旧住民の間の交流も強まりつつある。

■歴史ある伝統・文化

- ③ 古くからの住宅地では、多くの寺社やそこで催される祭事、また旧街道沿いの遺構など、歴史にまつわるものが多くあげられている。
- ④ 旧野洲川の伏流水など昔から住民と水とのつながりが強い地域であることから、井戸や竹管簡易水道など水にまつわる生活遺産も多くあげられている。

■自然・住みやすい環境

- ⑤ 学区内を南東から北西に横切る旧野洲川河川敷に残る草木や、法竜川、新川、大川、樋の口川などの河川があり、素のままの自然環境と、自然を活かして整備された施設が、それぞれにやすらぎの空間を形成している。
- ⑥ 一方、湖岸に近い新興住宅地では、対岸の比良の景観、湖岸の自然、湖岸に立地する近代的な施設があげられており、広大な範囲に特徴の異なる地域が混在する速野学区の「多様性」が現れている。

■速野学区ならではの生活・産業

- ⑦ 豊富な河川水を活用した農業、琵琶湖で栄えた魩漁をはじめとする漁業など、多彩な第一次産業が地域を支えてきている。
- ⑧ 「おうみんち」や佐川美術館など近代的な集客施設も立地し、外の人からみた地域の魅力を高めている。

1.1 地域の特徴、良いところ

自治会	分類	特徴
中野、中野小林	新しいまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口増により、中野小林自治会が独立 ● 今なお人口が増加中
	人柄	<ul style="list-style-type: none"> ● 控えめな人が多い
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ● P T A活動が活発 ● 夏祭り等で協力的 ● ※子ども達が集まって活動できる場所（自治会館）がない
開発、大曲	人柄	<ul style="list-style-type: none"> ● 年齢層を問わずあいさつができる ● 人がせこせこしていない ● おすそ分けの習慣、仲がよい
	人のつながり・交流	<ul style="list-style-type: none"> ● こぢんまりとした自治会 ● お互いの顔がみえる ● まとまりのある町民 ● 老人クラブがなく、今後の復活が課題 ● 近年増加した新住民と旧住民の間で、子育てを媒介とした交流
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民が協力して町史を作成した思い出 ● 高齢者が元気 ● まちづくり活動に協力的
	歴史	<ul style="list-style-type: none"> ● もともと洲本区というひとつの地域 ● 旧野洲川の伏流水のところにできたまち ● 法竜川に支えられた米作り、水運
ネオ・ベラヴィータ守山	新しいまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境または利便性を求める人が転入 ● 電柱がなく、見晴らし、景色がよい ● 緑の多い街並み ● 道路が広く、きれいに区画されている
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会が設立されるまで、木浜自治会の世話になっていた ● 自治会設立 10 年で、ようやく守山市の自治会として認識されてきた ● 平均年齢 27.8 歳で守山一若い自治会 ● 歴史的資源が乏しい一方、一斉清掃（他自治会が年 2 回のところ 4 回実施）で美化に努め守山一優雅な街並み保全 ● 小学生 230 人の子供会があり、自治会として育成に力を入れている
木浜	人柄	<ul style="list-style-type: none"> ● 牧歌的な人が多い。 ● 長寿の人も多く、現在 100 歳以上が 3 名おり、今後も増える ● 思いやりのある人が多い ● 町内に 6 ヶ寺 1 神社があり、信仰の厚い人が多い。
	人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間行事を通して住民の交流が図られる ● 自治会内で組織分担し、年間行事をうまくこなしている
	自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 守山で琵琶湖に最も接するまち ● 琵琶湖の伝統漁法「エリ」発祥の地

自治会	分類	特徴
美崎、北川ニュータウン	人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ● 人が地域の資源 ● ソフトボールのリーグ戦や学区内対抗（年8～9試合）を通して形成された自治会内外の人の繋がりが深い ● 北川NTの新規転入者とのつながりもソフトボールが貢献 ● 区民のつどいで綱引き競技がある（他の学区にはない）
	自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> ● なぎさ公園…もともとは旧野洲川が創った自然の砂浜
今浜、水保	歴史	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業振興地 ● 観音寺の逆さ藤、お満灯笼など歴史的いつたえ
	人柄	<ul style="list-style-type: none"> ● 働き者が多い
	人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ● 旧集落の方は思いやりが深く助け合いの心が大きい ● となりとのつき合いがよい ● かつては屋号で呼び合うことが多かった ● 高齢者が元気。地域内の人の繋がりが強い ● 高齢者の「ふれあいの場所づくり」を毎週火曜日に実施
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 老人クラブは毎週土曜午前を、グランドゴルフ、茶話会、昼食会、カラオケ等で過ごす ● まちづくり全体会議の組織（75人）を中心に地域全体の活動が活性化 ● 春祭り、夏祭り、防災訓練、町民交流会、左義長など定例的な交流の場 ● 「おうみんち」への出荷が農家の励みになっている
	自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 近隣景観形成協定地区。40年以上にわたり花のあるまちづくりの取組…最初は菊作り ● 環境保全隊の取組（子ども役員、農業役員、自治会役員、老人会役員）は、横のつながりが多く素晴らしい事業取組。

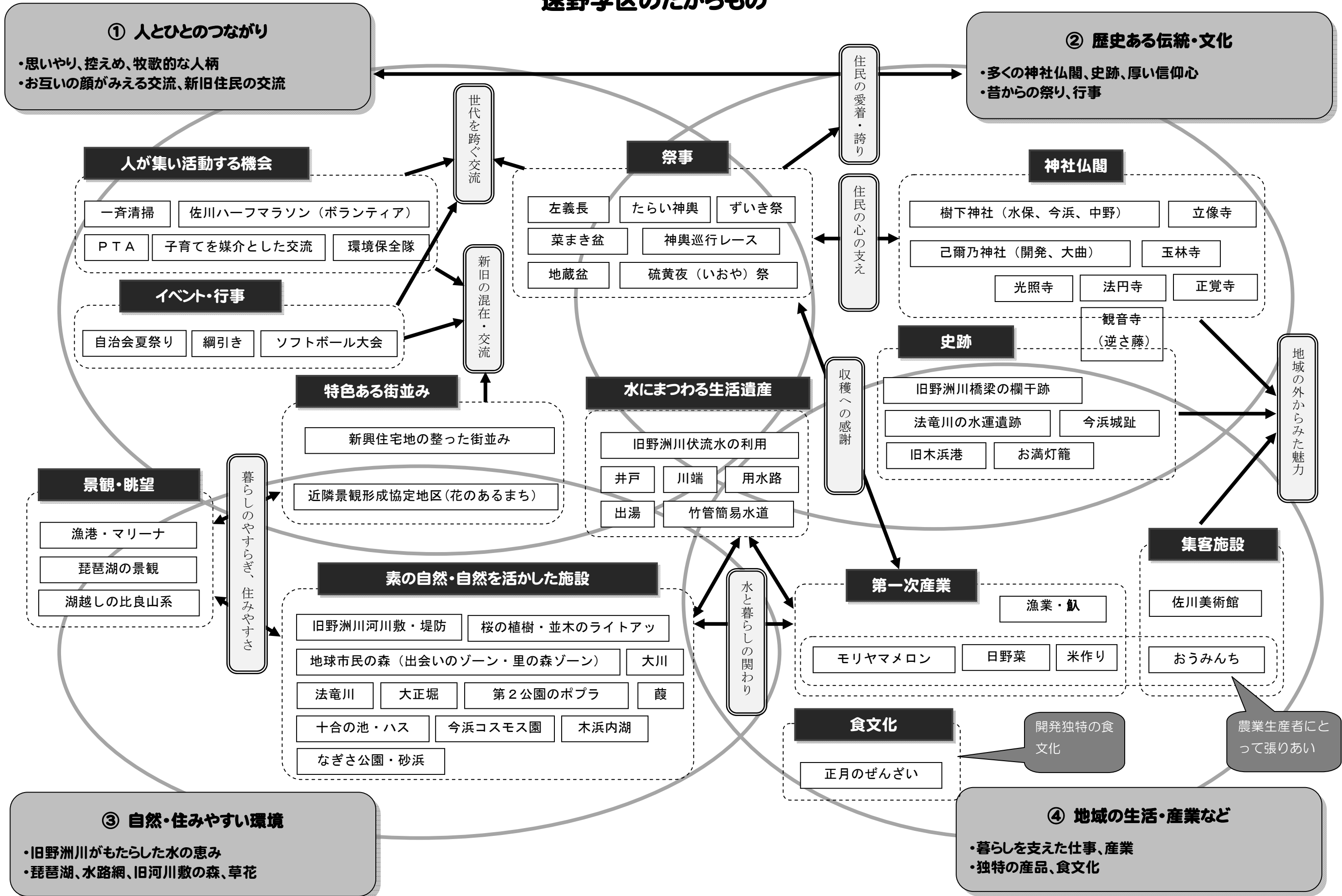
1.1 地域のたからもの

分類	内容	地域	その他（内容詳細等）
人・交流・活動	人柄		● 人がせこせこしていない。控えめな人が多い。
	昔からの交流		● 仲がよく、まとまりがある。おすそ分けの習慣。お互いの顔がみえる。
	新旧住民の交流		● 子育てを媒介とした新旧住民の交流
	P T A	中野、中野小林	● P T A活動が活発。夏祭り等で協力的
	環境保全隊	今浜、水保	● 子ども役員、農業役員、自治会役員、老人会役員の横のつながりがある取組
	左義長	今浜、水保	● 毎年1/14。無病息災を祈り正月の注連飾り等を焼く祭事
	たらい神輿	今浜、水保	● 毎年5/5に樹下神社にて。たらいにお満さんに乗せて町内を担ぎ歩く
	神輿巡行レース	今浜、水保	● 春祭りの宵宮に実施。前夜に太鼓で触れ回って盛り上げている
	硫黄夜（いおや）祭	今浜、水保	● 樹下神社で行われる、お満さんの言い伝えにちなんだ祭事
	菜まき盆	開発、大曲	● 己爾乃神社で9月に行われる祭事。豊穣に感謝し粗菜類の種をまく祭
祭り	地藏盆	開発、大曲	● 8/23に実施（全自治会で実施?）
	ずいき祭り	今浜、水保	● 樹下神社で行われる祭事。「ずいき神輿」が作られる
	佐川ハーフマラソン	北川ニュータウン	● 地域住民が大いに役立っている（ボランティア）
	夏祭り	材・バ・ラ・グ・イ・タ・守山	● 湖畔での夏祭りが盛大
	ソフトボール大会	美崎・北川ニュータウン	● リーグ戦や学区内対抗を通じた自治会内外の交流
	綱引き	美崎・北川ニュータウン	● 区民の集いで実施される（他の学区にはない）
	一斉清掃	材・バ・ラ・グ・イ・タ・守山	● 他自治会が年2回のところ、年4回実施
	漁港・マリーナ	美崎・北川ニュータウン	●
	湖越しの比良山系の風景	美崎・北川ニュータウン	● 比良に沈む夕日は、極楽浄土をイメージさせる素晴らしさ ● 比良側から見下ろすと、田畑の美しさ、新野洲川、山から生まれる色（ホテルは見苦しい）
	琵琶湖の景観	材・バ・ラ・グ・イ・タ・守山	● 湖畔からの景観が素晴らしい。冬の比良山系の雪景色。
特色ある街並み	近隣景観形成協定地区	今浜・水保	● 40年以上にわたり花のあるまちづくりの取り組み…最初は菊づくり
	新興住宅地の整った街並み	材・バ・ラ・グ・イ・タ・守山	● 電柱がなく、緑が多く、道路が広く、きれいに区画されている

分類	内容	地域	その他（内容詳細等）
寺社	樹下神社	水保・今浜・中野	● 様々な祭事があり、幼稚園や小学校の行事等にも活用
	法円寺	今浜	● 真宗大谷派の寺院
	観音寺	水保	● 天台宗の寺院。室町時代の仏画、源頼朝ゆかりの逆さ藤、石仏群などがある
	正覚寺	水保	●
	立像寺	水保	●
	己爾乃神社	開発・大曲	● 開発、大曲にそれぞれ1社ずつ存在
	玉林寺	開発	● 観音堂に十一面観音像を祀る
	光照寺	木浜	● 伊能忠敬が宿泊した寺
	今浜城趾	今浜	●
	旧野洲川橋梁の欄干跡	水保	● ※モニュメントとして残せないか
史跡	法竜川の水運遺跡	大曲	● 戦後までの運河、インクライン等の遺構が出てくる（かもしれない）
	お満灯籠	美崎	● お満さんの伝説。
	旧木浜港	木浜	● 古くは大津への海運の拠点となる港町。蒸気船が入りし60件以上の商店が街道沿い約1km並んだ
	旧野洲川・伏流水	開発・大曲	● 親池から各世帯に水路を引いていた（竹管簡易水道…竹を利用した水路、松で作った継ぎ目）。
	伏流水を生活に利用	開発・大曲	● 井戸、川端があった。出湯があった。川堀仲間が今も残る。
	井戸・川端・用水路・出湯・竹管簡易水道	開発・大曲	● 洗濯や野菜洗いをはじめ、日常生活にかかせなかった伏流水
	漁業、鮎（えり）	美崎	● 伏流水を町内や家庭に引き込み、活用するための工夫・文化
	米作り	開発・大曲	● 琵琶湖、野洲川の漁業は、地域の生活の中心。鮎づくりの技術者は、美崎、木浜が中心。
	ぜんざい	開発	● 法竜川に支えられた稲作
	日野菜	今浜	● 正月に雑煮の代わりにぜんざいを食べる習慣
第一次産業	モリヤマメロン	今浜	● 県の伝統野菜でかぶの一種。主産地は日野町だが守山市今浜でも多く栽培
	おうみんち	水保	● 「モリヤマメロン」の名でブランド化された守山市産のメロン
	佐川美術館	中野小林	● JAおうみ富士直営の農産物直売所
			● びわこ博物館とともに、お客さんを案内する場所
水にまつわる生活遺産			
集客施設			

分類	内容	地域	その他 (内容詳細等)
自然	桜の植樹	水保	● 旧野洲川沿い。120本を定植し成長を待っている。草刈りや清掃などを行い愛着を持っている
	桜並木のライトアップ	開発	● おうみんち付近の川沿いの桜並木をライトアップ
	地球市民の森	開発・大曲	● 開発自治会…出会いのゾーン、大曲自治会…里の森ゾーンがそれぞれある
		水保	● ※集客、交流の場として盛り上げるイベントが必要(遊具、植生、マラソンなど)
	美崎		● ※地域の核となっていくのでは?(他の魅力は少ない?)
	法竜川	大曲	● 農家と耕作地の移動路、作物等の輸送路として、大曲の稲作を支えた。
	なぎさ公園・砂浜	美崎・北川ニュータウン	● 大津から南湖を遡ると初めて現れる砂浜
		美崎・木浜	● もともと旧野洲川から流れこむ砂でつくられた自然の砂浜
	葎	美崎・木浜	● ※刈り取った葎を火祭りに行かせないか(なぎさ公園の葎)
	旧野洲川河川敷・堤防	美崎	● 桜がきれい。林が残っている。
	十合の池・ハス	中野	● ハスの花の生育地
	大川	美崎	● 水質改善のとりにくみ。草の管理が大変だが有効活用もできそう。
	木浜内湖	木浜	● 北側…びわこプラザ、南側…釣り堀として活用 雑草をはじめ環境整備が必要。ブルーギルが多い。モロコやアユがいるようになるとよいが…
	大正堀	中野	● 水がきたない。水質をなんとかしたい。
	第2公園のポプラ	材・ハカ・イタ守山	● 高さ25~30m
	今浜コスモス園	今浜	● 約1800㎡。町民の憩いの場であり絆を繋ぐ場

速野学区のたからもの



(注) 第2回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。